

講義日程・時間

8月16日 火曜日

1 限目

1. 授業科目名	糖尿病(小児糖尿病を含む)の理解と支援		
2. 担当教員名	名和田 新		
3. 授業の概要	糖尿病の病因、診断、合併症と予防と治療		
4. 到達目標	糖尿病の理解、糖尿病患者のケア - の仕方		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	糖尿病について	講義
6. テキスト・参考文献等	ジョスリン糖尿病学 金澤康德他 メヂカルサイエンスインタ - ナショナル		
7. 成績、評価方法・基準	試験		
8. 特記事項	なし		

講義日程・時間

8月16日 火曜日

2 限目

1. 授業科目名	アレルギーを持つ子どもの支援・援助		
2. 担当教員名	宮城 由美子		
3. 授業の概要	現代の子どものたちの1割程度に、ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患があると報告されている。これらの疾患は、長期にわたり管理をする反面、症状が重い場合には死に至る危険性もあり、学校における教育指導に当たって、細心の注意が必要である。アレルギー疾患を有している子どもが、より快適に安全に学校生活を送るために必要な疾患の概要と、学校生活上での留意点などについて展開する。		
4. 到達目標	児童、生徒に多いアレルギー疾患の概要と学校生活での留意点について学ぶ 1. 気管支喘息 2. アトピー性皮膚炎 3. 食物アレルギー 4. アレルギー性鼻炎		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	1. 気管支喘息の概要と学校生活での留意点 2. アトピー性皮膚炎の概要と学校生活 3. 食物アレルギーの概要と学校生活 4. アレルギー性鼻炎の概要	講義
6. テキスト・参考文献等	参考文献; 学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン 日本学校保健		
7. 成績、評価方法・基準	筆記テストにて60点以上を合格とする		
8. 特記事項	特になし		

講義日程・時間

8月16日 火曜日

3 限目

1. 授業科目名	病弱児の理解と援助		
2. 担当教員名	水野 勇司		
3. 授業の概要	小児の疾病特性に基づき、代表的な病弱児の疾病構造とその対応や援助治療方法について概説する。		
4. 到達目標	病弱児の病態やその対応と援助について理解を深める。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	1. 病弱児の理解 病弱児の内容と変遷	スライドとプリント
		2. 小児の疾病特性 1) 死亡原因 2) 小児の感染症 3) けいれん性疾患 4) 重篤な疾患 5) 小児における事故 6) 慢性疾患 7) 成長障害	スライドとプリント
6. テキスト・参考文献等	(1) 国立成育医療センター研究所成育政策科学研究部ホームページ http://www.nch.go.jp (2) 標準小児科学第5版 森川昭廣、内山 聖 編 医学書院 2003年 (3) 2005 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所ホームページ (4) 小児内科 特集 学校健康診断 東京医学社 37(4),2005.		
7. 成績、評価方法・基準	授業終了後に試験を実施し、60点以上を合格とする。		
8. 特記事項			

1. 授業科目名	発達障害児の理解と支援		
2. 担当教員名	水野 勇司		
3. 授業の概要	代表的な小児期における発達障害の種類、診断とその対応について概説する。		
4. 到達目標	発達障害児の病態やその対応について理解を深める。		
5. 授業内容・授業方法等	コマ	授業内容	授業方法
	1	発達障害児の理解 1. 発達の種類、経過、医学的診断と発達評価(神経心理学的検査) 2. 主な発達障害 1) 脳性麻痺 2) 精神遅滞 3) 自閉症 4) 注意欠陥多動性障害 5) 軽度発達障害 6) 重症心身障害 3. 療育について 1) 医学的治療 2) 治療教育、リハビリテーション 3) 医療と教育の狭間で; 医療的ケアの問題	スライドとプリント
6. テキスト・参考文献等	(1) カプラン臨床精神医学テキスト DSM-IV診断基準の臨床への展開 ハロルド・I・カプラン他 編著 井上令一他監訳 医学書院 1999年 (2) 医療的ケア 研修テキスト 重症児者の教育・福祉・社会生活の援助のために 日本小児神経学会社会活動委員会 / 松石豊次郎・北住映二・杉本健郎 編著 かもがわ出版 2006年		
7. 成績、評価方法・基準	授業終了後に試験を実施し、60点以上を合格とする。		
8. 特記事項			